

2012年ABAC第4回ウラジオストク会議ニュースリリース【仮訳】

2012年のAPEC地域ビジネス関連討議、議長国ロシアの主導の下、成功裏に完了

2012年9月5日

ウラジオストク、ロシア

ビジネス界のリーダーであるAPECビジネス諮問委員会（ABAC）の委員達は今週ウラジオストクで会議を持ち、ABACのクライマックスであるAPEC首脳との対話に備えた。

「本年は実り多い1年だった。来年以降継続して推進していくイニシアティブをいくつも立ち上げることができた。」と2012年のABAC議長マゴメドフ氏は語った。「私達は2012年の優先課題を目覚しく進展させることができた。即ち、FTAAP（アジア太平洋自由貿易圏）を実現させる地域経済統合を前進させ、域内の食料安全保障を強化し、サプライ・チェーン・コネクティビティを向上させ、イノベーションと技術普及を促進させることができた。」

APEC地域の財務大臣達は、アジア太平洋金融フォーラム（APFF）を設立するというABACの提言を支持した。APFFは、地域の金融市場を発展・統合させるためのより強固な官民連携の場であり、インフラ、事業の拡大、国内消費の増大、外部からの衝撃に対する地域の回復力等の持続可能な資金調達のためには金融市場は不可欠である。2013年にオーストラリアが主催するシンポジウムでは、APFFのビジョン、戦略、優先課題を決め、次回の財務大臣会合が開催されるバリでその成果を報告することになっており、ABACはこのシンポジウムによってAPFFを前進させることとなる。

ABACはまた、ビジネスに焦点を当てた、技術・科学・イノベーションに関するAPEC政策パートナーシップ（PPSTI）の設立に主導的役割を果たしていく。PPSTIは、技術の誕生、普及、商業化に関わるAPEC全域の利害関係者を代表している。

サービス部門の経済成長に対する力強い貢献を考慮し、ABACはサービス貿易の自由化・円滑化に関する新しいアジェンダを採択した。またABACは今年、食料安全保障の強化に焦点を当て、食料安全保障に関するAPEC政策パートナーシップの始動に当たり大きく貢献した。世界的な規模で食料供給や栄養量を拡大し、食料貿易や食料市場を円滑化するための具体的な行動を、ここにABACは要請するものである。

運輸インフラやサプライチェーン・コネクティビティのさらなる向上はAPEC参加国・地域全てにとって非常に重要である。税関要件・手続きの調和や、シングルウィンドウ（単一受付窓口）の考え方、商品の認識と物流追跡のための標準化コード、さらに統合衛星ナビゲーション・システムのより広範な利用などのような、実用的な一纏めの提言をAPEC首脳に提示することに、ABACは今年熱心に取り組んだ。

これら全てのイニシアティブを2013年議長国のインドネシア主導で推進していく。

以上